

地域包括ケア推進委員会 × 認知症リハビリテーション委員会

コラボ研修会 実施報告書

1. 研修会の概要

本研修会は、地域包括ケア推進委員会と認知症リハビリテーション委員会による初のコラボレーション企画として開催された。

「地域×認知症×作業療法 作戦会議」というタイトルのもと、認知症支援を切り口に、作業療法士が地域とどのようにつながり、どのような役割を果たしうるのかを多角的に考えることを目的とした。

- **研修会名：**

地域包括ケア推進委員会 × 認知症リハビリテーション委員会 コラボ研修会
『地域×認知症×作業療法 作戦会議』

- **日時：**2026 年 1 月 30 日（金）18:30～20:00
- **開催方法：**オンライン開催
- **参加登録者数：**44 名
- **リアルタイム参加者数：**約 25 名

参加者は、経験年数 1～5 年目の若手から 21 年目以上のベテランまで幅広く、急性期・回復期・訪問リハビリ・老健・地域支援・行政など、多様な領域からの参加が見られた。

2. 研修内容の概要

研修会では、委員会の成り立ちや活動の文脈を共有したうえで、地域における認知症支援の実践事例や、作業療法士が地域とつながるプロセスについて話題提供が行われた。

特に、地域住民や多職種、行政との協働を通じて実践されてきた取り組みが紹介され、「作業療法士が地域に出ていくとはどういうことか」「専門職としてだけでなく、一人の“人”として地域に関わるとは何か」といった問いが参加者に投げかけられた。

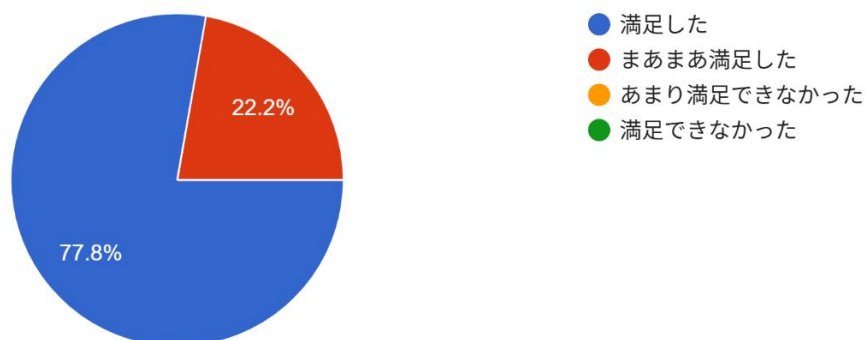
また、実践の成果だけでなく、活動の立ち上げ時の葛藤や試行錯誤についても共有され、参加者が自身の立場や経験と重ね合わせながら考えられる内容となった。

3. 参加者アンケート結果の概要

アンケートでは、満足度について「満足した」「まあまあ満足した」と回答した参加者が大多数を占め、研修会全体に対して肯定的な評価が得られた。

本研修会にご満足いただけただけでしょうか？

18 件の回答



自由記述からは、以下のような声が多く寄せられた。

- **地域とつながる実践への刺激・共感**
 - 「地域とつながる成功体験を示してもらい、今後に活かしたいと思った」
 - 「OT の実践が共有でき、OT ができることを改めて認識できた」
 - 「病院勤務では見えにくい“地域の OT 像”を考えるきっかけになった」
- **OT 観・価値観を見つめ直す機会になった**
 - 「認知症というテーマを通して、OT 観を考える時間になった」
 - 「昔の価値観とこれからの OT の在り方の間で揺れる自分に気づいた」
 - 「人の中、社会の中、地域の中にいるのが OT だと再認識した」
- **若手 OT からの学びと今後への意欲**
 - 「地域や認知症に深く関わる先輩方の話を聞き、視野が広がった」
 - 「自分から地域に出て関わることの大切さを感じた」
 - 「できる範囲から取り組んでみたいと思った」
- **今後への要望・期待**
 - 「事例検討や相談できる場があるとありがたい」
 - 「軽い雰囲気での研修会や情報交換会を継続してほしい」
 - 「他委員会の話も聞いてみたい」

また、県外からの参加者からは「委員会同士のコラボレーションが非常に魅力的」「ぜひ今後の情報交換会等で登壇してほしい」といった声もあり、本企画の先進性や波及効果がうかがえた。

4. 考察

本研修会を通して、認知症支援というテーマは、単なる専門領域の学習にとどまらず、「作業療法士が地域でどのように存在するのか」「専門性をどのように社会にひらいていくのか」を考える契機となることが示された。特に、

- 作業療法士単独で地域とつながることの難しさ
- 行政・包括・社協などとの日常的な関係づくりの重要性
- 金銭的報酬だけを目的としない関わりから始まる実践の価値

といった点は、多くの参加者に共通する実感として共有された。

また、経験年数や所属領域の違いを越えて、「OT として大切にしたい感覚」を言語化・共有できたことは、参加者にとって大きな安心感と励みになったと考えられる。

5. 今後に向けて

今回のコラボ研修会は、委員会間の連携によって新たな視点と学びを生み出す有意義な機会となった。今後は、本研修会で得られた参加者のニーズを踏まえ、

- 事例検討や相談を含む継続的な学びの場づくり
- 情報交換を目的としたゆるやかな交流の機会
- 他委員会や他職種とのさらなるコラボレーション

などを検討していくことで、地域に根ざした作業療法実践の深化と広がりにつながることが期待される。

以上のことから、本研修会は、地域包括ケアと認知症支援を横断的に捉え、これからの作業療法士の役割を考える「作戦会議」として、大きな意義を持つ研修であったといえる。

***Peatix で初めて研修会を募集しましたが大きな問題なく実施可能であったと思われます**

文責：地域包括ケアシステム推進委員長 小渕浩平